
Session5: アジアの水質汚濁に係る 法制度と技術ニーズ

<第8回 アジア・太平洋エコビジネスフォーラム>

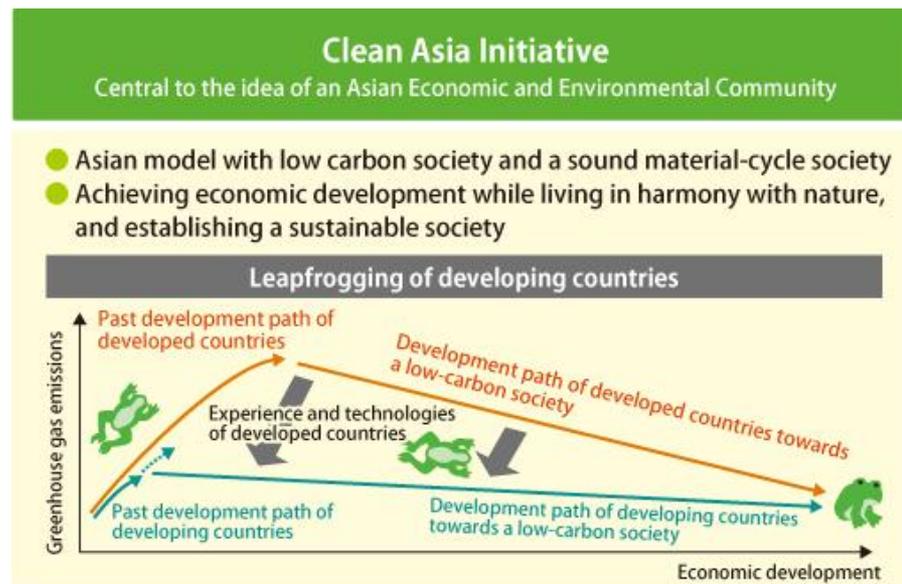
平成24年2月9日(木)

15:15 ~ 17:15

於 川崎市産業振興会館

○日本モデル環境対策技術等の国際展開

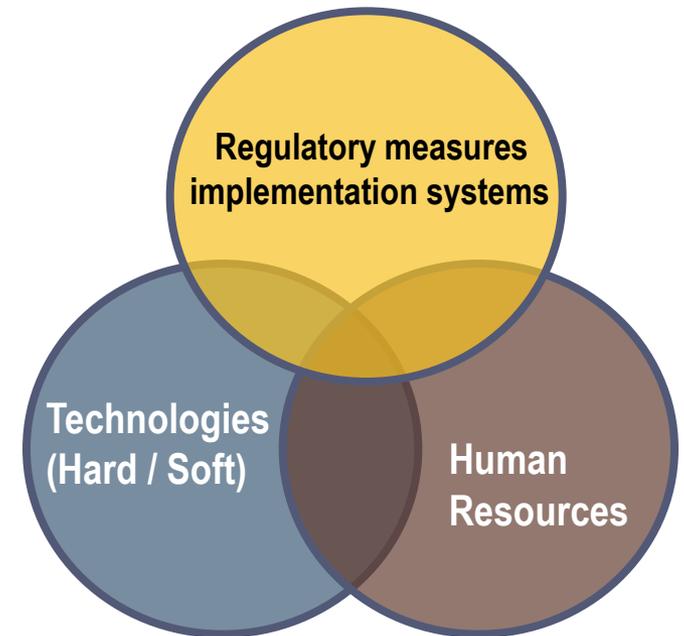
- 平成21年度～平成25年度
- 我が国の公害対策経験をアジア諸国で活かし、環境対策を効果的に実施、日本の優れた環境対策技術を普及
- 具体的には中国、ベトナム、及びインドネシアで、大気汚染・工場排水対策に悩む工場をモデル工場とし、有効な環境対策技術を提案、必要な制度、その運営維持に必要な人材育成を工場、地方政府、中央政府に提案



○パッケージド・ポリシー・アプローチ

環境対策推進には技術の普及のみならず、規制・制度、組織・人材育成が必要なため、これらをパッケージとしてアジア諸国に提案。

- 適切な環境対策技術の普及
- 技術の普及を促進する
規制・制度の導入
- 規制・制度の実施を担保する
組織・人材の育成



○パッケージド・ポリシーアプローチの普及

「第10回持続可能な消費と生産に関するアジア太平洋ラウンドテーブル」(APRSCP)でパネルディスカッションを実施し、パッケージド・ポリシー・アプローチの重要性を解説。



(2011年11月、インドネシア国ジョグジャカルタで開催)

○モデル事業 ーベトナムー

「日本モデル環境対策の国際展開」のモデル事業として、タイグエン省の製紙工場、乳製品工場の排水処理について、適切な技術を提案。



乳製品工場の排水処理



製紙工場の排水処理

○モデル事業　ーインドネシアー

「日本モデル環境対策の国際展開」のモデル事業として、北スマトラ州の
パーム油工場の排水処理について、適切な技術を提案。



パーム油工場の排水処理

○環境対策に関するセミナーの実施等

関係者を対象とする環境対策に関するセミナーを実施し、モデル事業の検討結果を広く普及すると同時に、二国間会議で中央政府、地方政府の実施すべき規制・制度や組織・人材育成等を議論。



インドネシア国・ジャカルタ

ベトナム国・ハノイ



○ビジネスマッチング

- ・同時に、日本の優れた環境対策技術を現地の工場等に紹介
- ・アジア諸国の法制度や現地ニーズ等を国内に情報提供



インドネシア環境週間にあわせた日本の環境対策技術の展示会
(2011年6月、インドネシア国ジャカルタ)

日本の環境対策技術のアジア展開に向けて

<http://www.env.go.jp/air/tech/ine/asia/index.h>

○環境技術実証事業 (Environmental Technology Verification)

既に実用化され有用と思われるが効果の客観的評価がないため普及が進んでいない先進的環境技術について、第三者機関が実証するもの。

- 地球温暖化対策技術分野
(照明用エネルギー低減技術(反射板・拡散板等))
- VOC簡易測定技術分野
- ヒートアイランド対策技術分野
(オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)
- 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
- 自然地域トイレし尿処理技術分野
- 湖沼等水質浄化技術分野
- 閉鎖性海域における水環境改善技術分野
- ヒートアイランド対策技術分野
(建築物外皮による空調負荷低減等技術)

※一部休止中のものがあります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



適切な技術の普及のために取り得る制度の一つとして、二国間会議において議論。

○Session5 アジアの水質汚濁に係る法制度と技術ニーズ

「インドネシアにおける水質汚濁に係る法制度と技術ニーズ」
インドネシア環境省 アリフ・ウィボウオ様

「ベトナムにおける水質汚濁に係る法制度と技術ニーズ」
ベトナム天然資源環境省 ドウ・ナム・タン様

Session5: アジアの水質汚濁に係る 法制度と技術ニーズ

<第8回 アジア・太平洋エコビジネスフォーラム>

平成24年2月9日(木)

15:15 ~ 17:15

於 川崎市産業振興会館